

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	現在の入居者の殆どは難聴度が高く、大声での会話が必要となる。職員が入居者の危険防止で制止する場合も職員が見えてない場所よりその声を聞くと恫喝しているように聞こえて、不愉快、不安になる恐れもあり、又言葉による虐待と部外者より受け取られる恐れがある。	職員が普通の音量で会話ができるようにする	*言葉とともに大きな動作(ジェスチャー)を取り入れる事やなるべく耳元で会話する *会話の理解度を深める為、場合によっては方言を使用する	3ヶ月
2	14	記録時に排泄状況を尋ねる際に他の入居者にも聞こえるような問かけがなされている事や、排尿時の失敗で介護者が大きい声で制止声かけをするのが誇りを傷つけるのではと思われる	プライバシーに配慮した声かけを行う	接遇等の研修会資料を再度見直して改善点を職員会議の中で話し合う	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。